

豊坂っ子通信

令和2年度
豊坂小校長室だより
R2・12・23
No. 13
発行 本多 宣子

前向きに頑張り 学びがいっぱいの2学期

本気で取り組んできた78日間の2学期が、今日終わります。

例年とは大きく異なり、短い夏休み後に始まった2学期は、スポーツ集会、発表会そしてマラソン大会を全校で有意義に終えることができました。また、感染症対策を徹底しながら、5年生は野外活動、6年生は修学旅行、他学年は校外学習に出かけて学びの多い学習を展開することもできました。このコロナ禍においてマスク着用、三密を避けるために人とのかかわりが心配ななか、豊坂っ子たちは、今の状況に適応しながらも仲間とともに前向きに考え、「今できることを工夫して頑張る」姿が多く見られました。そうした子どもたちからは明るく温かい心がたくさん伝わってきた学期でした。

今日の終業式で、5名が発表した2学期のふり返り、頑張ったことの一部を紹介します



ぼくは、2学期にいろいろなべんきょうをしました。1ばんがんばったことは、たいいくです。その中でも、とびばこをがんばりました。ようちえんのとびばこではできていたけれど、小学校のとびばこがとべなくて、くやしかったからです。ともだちのとびかたを見たり、なんかいれんしゅうしたりしました。ロイターばんで、ダンと音がするように、あしをそろえてとびました。三だんがとべて、四だんもとべるようになり、れんしゅうしてよかったなとおもいました。…三学きもたのしくべんきょうしたいです。 (1年2組 いまむらむさし)

わたしは、2学期にがんばったことが三つあります。一つ目は、図工のはんがです。はじめてちょうこく刀でほりました。けがをしそうで、こわかったです。…二つ目は、まとめテストです。合かくできるように、家でお母さんに問題を出してもらって練習しました。漢字と算数のテストをやる前に、どきどきしました。でも、合かくしてやると強く思ったからか、合かくできました。うれしかったです。…3学期は、書き初め会で金しょうをとれるくらい習字の練習をがんばりたいです。 (3年2組 加藤里奈)

私が2学期にがんばったことは、自分の意見を言えるようになってきたことです。3年生の時と比べて、だいぶ意見が言えるようになってきたと思います。以前は、間違っていたら恥ずかしい、笑われたらいやだなと思っていました。そんなとき、先生から「間ちがえてもいいんだよ」と言ってもらってから、勇気を出して手を挙げてみようと思いました。最初は、はずかしかったけれど、言い終わったあとにすっきりすることに気づきました。だんだん授業中に手を挙げられるようになりました。…3学期は、2学期よりも発言できるようにして、自分の思いをみんなに伝えていきたいです。 (4年1組 浅井美穂)

ぼくが、2学期にがんばったことは、発表会とマラソン大会です。…もう一つは、マラソン大会です。今年は、新型コロナウイルス対策で、男子と女子で分かれてチャレンジタイムを行いました。去年は、工事中でコースを走れなかったのが、初めての高学年コースを走るのが楽しみでした。走ってみたら、思ったよりも距離が長くて、とてもつかれました。でも、家でも走る練習をして、タイムが速くなりました。本番は、スタートからいつも通り走れました。ずっと同じペースでがんばって走りました。運動場に入ってきて、ラストパートをかけて走り、ゴールしました。小学校最後のマラソン大会は、練習から本番までがんばりました。3学期は、中学校に向けて勉強をがんばりたいです。 (6年2組 伊藤龍斗)

ぼくたち6年生は、この2学期に修学旅行へ行きました。今年は、新型コロナウイルスで修学旅行に行けるのかとても心配でした。でも、行けることを信じて準備しました。…そして、修学旅行当日、ぼくは担当した寂光院を早く見たいなあという気分でした。長い石段を上がりながら、実際に見たもみじはとてもきれいでした。奈良と犬山をめぐる今年の修学旅行は、6年生全員がそろって行くことができ、とても楽しい思い出になりました。今年は行事も限られていますが、今年ならではの工夫をしてきました。3学期もぼくたちだからできることを目指してがんばっていききたいと思います。 (6年1組 平岩拓実)



どんどんレベルが上がっている 豊坂小ノート検定

「とよさか小・ノート検定」2学期の検定を12月に実施しました。全学年一人一人が2学期に学習したノートを点検しました。「5か条：①日付を書く ②ていねいな字で書く ③線を引く時は定規を使う ④落書きをしない ⑤学習プリントがきちんとはってある」全てができていないノートが大変多くなり、合格の子には合格印を押しました。子どもたちのノートを見ると、学習に真剣に向かっていること、授業に落ち着いて取り組んでいること、よく考えて文や言葉で書く力が高まっていること、確実に計算をしていることなどがよく伝わってきました。さらに、大事なポイントを目立つように朱記したり、説明をわかりやすく自分の言葉で記述したりという自分の学びの足跡を整理するノートも高学年には多く見られるようになってきました。このように自分なりの工夫を加えたお手本となるノートは、「スペシャル合格」として、きらきらシール付き合格です。残念ながら「おまけ合格」となってしまった子とは、「3学期こそ完全合格できるように頑張る！」と、目標を決めることもできました。



「字は体を表す」とも言われるように、ノートを丁寧に書く習慣をつけることは、学習に集中して取り組むことにつながります。そして、ミスを減らすだけでなく、ノートに整理して書くことで頭の中も整理することができます。「ノート検定・5か条」を頑張っている豊坂っ子たち、さらに、自分で学ぶ力を高めていってほしいと願います。

優秀賞を受賞した作文紹介

6年生が国語で取り組んだ作文を応募したところ、3名が素晴らしい賞に入賞しました。「“社会を明るくする運動”作文コンテスト」(岡崎保護区保護司会)では渡辺菜月さんが「小学校の部最優秀賞」を、「“住みよい地球”全国小学生作文コンクール2020」には、磯村衣吹さんが「準優秀賞」、夏目采さんが「佳作」を受賞しました。おめでとうございます。下記に優秀賞2名の作文の一部を紹介します。



わたしにできる事

わたしの父は元けい務官だ。けい務官とは、犯罪をしてしまった人のこう生をしたり、けい務所の中にいる人たちの行動をかん視したりする仕事だ。…この作文のテーマを聞いたとき、父の顔がうかび、話を聞いてみようと思った。父はすぐにたくさん話をしてくれた。「犯罪をしちゃう人には居場所がないんだよ。職場がなかったり、家があっても家の中で居場所がなかったり。」居場所。じゃあ、わたしにとっても居場所はなんだろう。おそらくそれは家族だ。わたしがなやんでいるとき、わたしの家族は、いつも話を聞いてくれる。いやな顔一つしない。そして、わたしも家族の一員で、父の相談にのったり、気分転かんにつきあったりする。その温かい家族という居場所がわたしにはある。…あと、もう一つ父が教えてくれたことがある。それは、「町の見回り・あいさつ」が大切だということだ。父はくわしく理由を教えてくれなかったけれど、わたしはこう思う。犯罪をしてしまう人は、自分がいてもいなくてもよい存在だと思っている人が多いのではないか。そうすると、もういいや、と投げやりな気持ちになり、犯罪をおかしてしまうのではないか。だから、学校に来るときに何気なくすれちがった人に、「おはようございます。」とあいさつすることも、犯罪を止めることにつながるのかもしれない。…父に比べると、わたしに今できることは、小さなことかもしれない。でも、まずは「あいさつ」をすることで、わたしの住む町の犯罪が少なくなることを願っている。

6年 渡辺 菜月

町のいいところ発見

わたしの町には、いいところが数え切れないぐらいたくさんあります。いつものように登校していても、いいところがたくさんです。一つ目は、見守り隊の人のあいさつです。毎朝、横断歩道のところで旗を持ってわたしたちに、「おはよう。今日もがんばってね。」と声をかけてくれます。わたしは、そんなあいさつで毎日元気をもらっています。その日一日元気で過ごせるような気がします。見守り隊の人には、とても感謝しています。…三つ目は、自分たちで育てたナスが給食に出るということです。毎年三年生と六年生がナスを育てて、できたナスを給食センターに持って行きます。六年生は、ペアで一本のナスのえを育てます。毎年、たくさんナスが三年生とあわせてとれます。毎日のように水をあげないといけないのでとてもたいへんです。だけど、初めてナスがとれた時は、とてもうれしかったし、食べたらずごくおいしかったです。…次の日にナスカレーとして給食に出ました。みんなおいしいと言っていたので、たぶん町内の他の学校の子も、おいしいと言ってくれていたと思います。本当にとてもおいしいナスカレーでした。…

6年 磯村 衣吹



今年も本校の教育活動に大変ご協力をいただき、ありがとうございました。令和3年は、きっと素敵な年になることと思います。よいお年をお迎えくださいませ。